
父母の9割が「家庭円満の秘訣はドライブ」

『家族だんらんとおでかけに関する意識調査』

「クルマでのおでかけ」をテーマに調査研究を進めてきた中で、その背景には“家族コミュニケーションの不足”という現代人が抱える問題があることがわかってきました。そこで“家族コミュニケーションの不足”に焦点を当て、さらに掘り下げて調査研究を実施。

小・中学生の子どもがいる30～40代の男女を対象に『家族だんらんとおでかけに関する意識調査』をおこなったところ、“車の中”では家族が「夢」や「本音」を語りやすく、“車でおでかけ”が家族のきずなを深める機会となることが明らかになりました。

<ポイント>

1. 車内は、家族の「夢」や「本音」が聞ける場所
2. 約9割が、“車でおでかけ”で「家族がさらに仲良くなった」
3. 一緒にドライブしたい理想のパパ・ママは、土田晃之さんと北斗晶さん

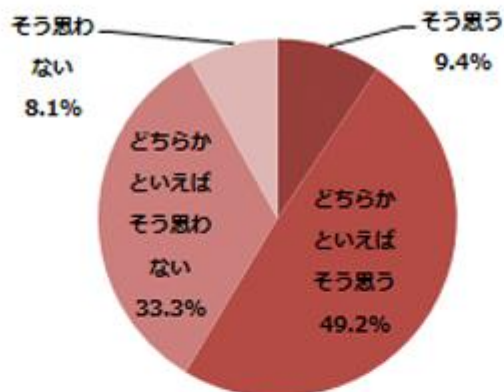
■父母の約9割が、家族だんらんには“車でおでかけ”！

「ふだん家族のだんらんが足りないと思いますか」とたずねたところ、58.6%が「足りない」「どちらかといえば足りない」と回答しました。

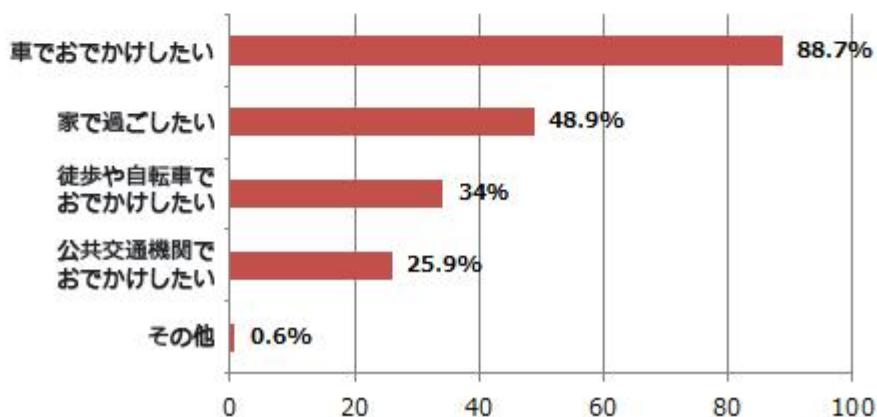
では「家族のだんらんを増やすために休日はどのように過ごしたいですか」という質問に対しては、88.7%が「車でおでかけしたい」と答えており、その理由として75.5%が「(車内は)家族だけのプライベート空間となるから」をあげています。

ふだんは仕事や学校でいそがしく家族のだんらんの機会が少ない分、車内で家族とのコミュニケーションを期待するお父さんお母さんの姿が垣間見える結果となりました。

ふだん、家族のだんらんの機会が
足りないと思いますか？



家族だんらんの機会を増やすために、休みの日に
家族と“おもに”どのように過ごしたいですか？（いくつでも）



■車内だからこそ話せる 家族の「夢」や「本音」

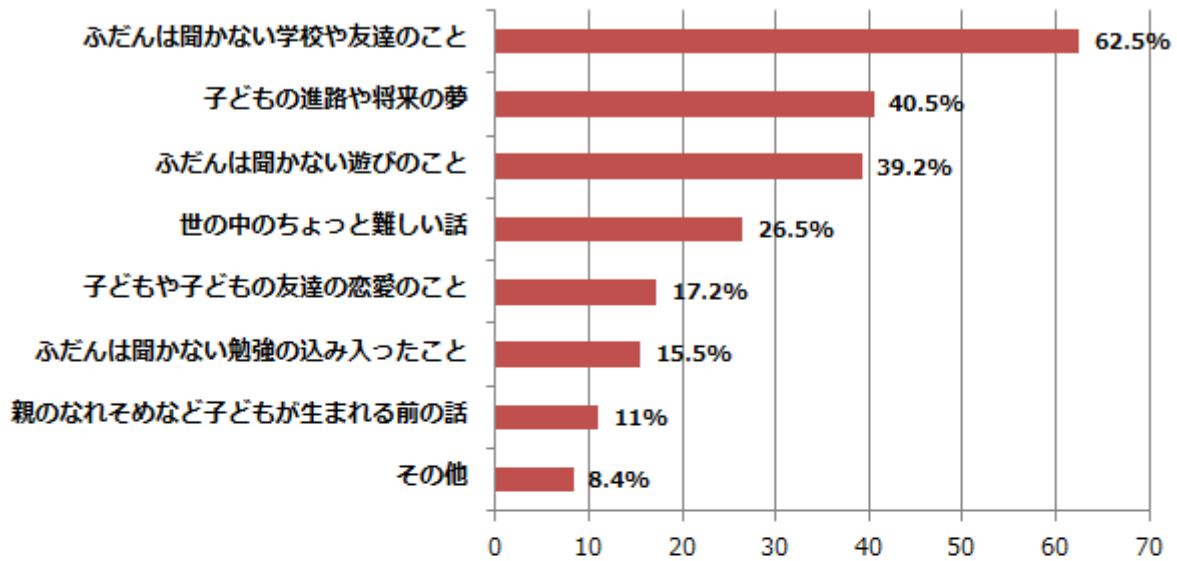
約9割が、“車でおでかけ”で「家族がさらに仲良くなった」

では、車内では家族でどのような話をしているのでしょうか。車内だからこそ話せる話題についてたずねたところ、「ふだんは聞かない学校や友達のこと」が62.5%ともっとも多く、ついで「子どもの進路や将来の夢」(40.5%)、「ふだんは聞かない遊びのこと」(39.2%)と続きます。

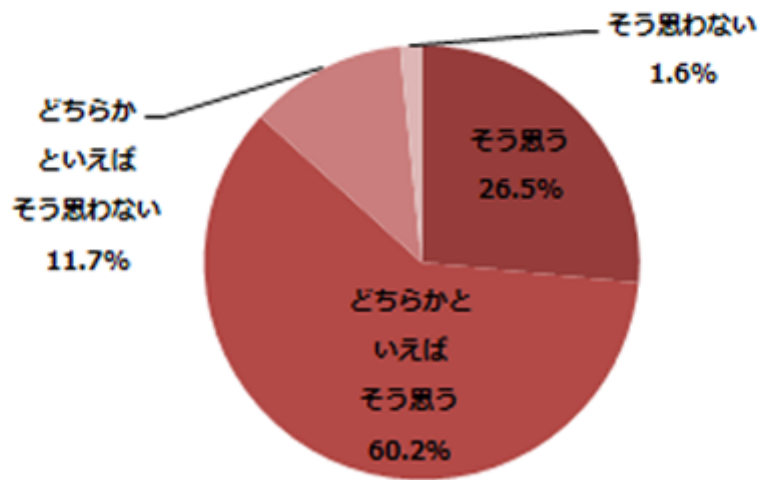
さらに“車でのおでかけ”が家族にもたらす変化として、車でおでかけしたことで「家族がさらに仲良くなったと思いますか」という質問に、86.7%が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答しました。

限られた空間で肩を並べている車内では、より家族との結びつきが強く感じられ、ふだんは面と向かってはいえないような「夢」や「本音」も素直に話せる一。“車でおでかけ”は、家族のきずなを深める重要な機会と考えているお父さんお母さんが多いようです。

車内だからこそ家族で会話できる話題は
 どのようなですか？（いくつでも）



ドライブ時のだんらんで
 家族がさらに仲良くなったと思いますか？



■一緒にドライブしたい理想のパパ・ママは、土田晃之さんと北斗晶さん！

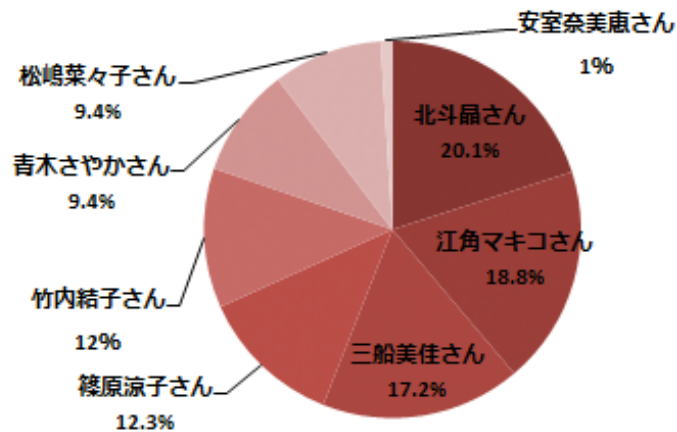
最後に、車内を盛り上げてくれそうなお父さん、お母さん像についてたずねたところ、1位は土田晃之さんと北斗晶さんでした。

土田晃之さんには「家電からマンガ・アニメまで話題が豊富」「土田さん自身もよきお父さんだろうと思う」など、知識の深さやプライベートでのよいパパぶりに評価が集まりました。

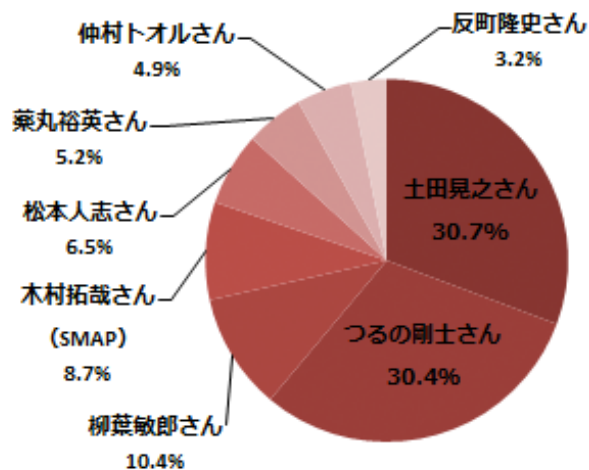
北斗晶さんは「渋滞でもイライラしないでニコニコしていそう」「いつも元気いっぱい 子ども大好きで楽しいことをいってくれそう」など、その明るさやテレビなどでうかがわれる家族思いの人柄に好感を寄せる人が多い結果となりました。

やはり車内では、いかに家族コミュニケーションを図るかがポイントとなるようです。

車内の会話を盛り上げてくれそうな母親のイメージに
もっともふさわしいと思う有名人を、ひとりだけお選びください



車内の会話を盛り上げてくれそうな父親のイメージに
もっともふさわしいと思う有名人を、ひとりだけお選びください



【調査概要】

調査方法 : インターネット調査

調査人数 : 309人 (男性 206人、女性 103人)

対象地区 : 全国

対象者属性 : 30~34歳:23人、35~39歳:64人、40~44歳:148人、45~49歳:74人
小中学生のお子さんのいらっしゃる方／運転免許を保有／
月1~2回は家族でドライブ旅行へ行かれる方 (日帰り含む)

調査期間 : 2011年10月7日~9日

調査実施機関 : 株式会社マクロミル